

raipara-re ry

赤城 茜

2020 年 10 月 16 日

目次

I	はじめに	3
II	言語システム	5
第 1 章	音韻・音声	6
1.1	母音	6
1.2	子音	6
1.3	促音・撥音	7
第 2 章	形態論	8
2.1	Modifier	8
2.2	Supplier	9
2.3	名詞	9
2.4	動詞	10
2.5	形容詞	12
2.6	副詞	12
2.7	疑問詞	12
2.8	時制	13
2.9	相	13
2.10	受動態・使役態	13
第 3 章	統語論（一般）	14
3.1	文全体の語順	14
3.2	疑問文	16

第 4 章	統語論 (mod・sup)	17
4.1	sup の項の解決	17
4.2	mod の解決	18
4.3	sup の修飾品詞による意味の変更	18
III	附録	20
Appendix A	文法の補足	21
A.1	mod・sup の語順	21
A.2	約物の表記	21
A.3	外来語の表記・読み	22
A.4	日本語への転記	22
A.5	複合語の形成	23
Appendix B	作品集	24
B.1	「インターナショナル」 r3 版	24
Appendix C	語彙集	26
C.1	スワデシュ・リスト	26

第Ⅰ部

はじめに

そんなものはない

第Ⅱ部

言語システム

第 1 章

音韻・音声

1.1 母音

表 1.1 母音表

	前舌		後舌	
狭	i[i]		y/u[u]	
半狭	e[e]	ee[e:]	o[o]	oo[o:]
広	a[a]	aa[a:]		

1.2 子音

表 1.2 子音表 (-j 以外)

	両唇音		舌頂音		舌背音		声門音
破裂音	p[p]	v[b]	t[t]	d[d]	k[k]	g[g]	
鼻音	m[m]		n[n]				
ふるえ音			r[r]				
摩擦音			s[s]	z[z]			h[h]

表 1.3 子音表 (-h-)

th[tʰ]	zh[dʒ]	rh[rʰ]	sh[ʃ]	f[ɸ]
ph[pʰ]	vh[bʰ]	kh[kʰ]	gh[gʰ]	mh[mʰ]
nh[n]				

1.2.1 子音そのものの発音

例えば子音 K や子音 M そのものを発音する（英語で言う「エー、ビー、シー……」）ときは、

- 大文字の場合 -aa
- 小文字の場合は -ea

を子音につけて発音する。

1.3 促音・撥音

子音を重ねると促音になる。例えば rakka のとき発音は /ra.k:a/ になる。また、撥音に **n**[ɲ] が存在する。

第2章

形態論

2.1 Modifier

Modifier (略記: mod^{*1}) は動詞に法・相・態などを追加するものである。mod は語の前につく (例. *ny-kyvenai* 「知らない」)。mod には特定の接尾辞がつかない。表 2.1 はよく使われる mod の一覧である。

表 2.1 主な Modifier の表

語	意味	用例	備考
di-	～しなさい (強)	<i>di-zhavai!</i>	上司が命令するイメージ
ri-	～しなさい (弱)	<i>ri-panhai!</i>	友人を誘うイメージ
ni-	～ならば	<i>ni-dai-sy re, ...</i>	
kyi-	～している	<i>kyi-monai.</i>	
ro-	過去、～	<i>ro-oreai.</i>	kyi- と併用で「～していた」
ho-	将来、～	<i>ho-derai.</i>	

mod をひたすら並べてみた例

tan-ny-esi-kyi-ho-nean-zeai.

tan^{MOD.}そして～ - ny^{MOD.}～しない - esi^{MOD.}～される - kyi^{MOD.}～している - ho^{MOD.}～だった - nean^{MOD.}～としても - zeai^{V.}愛する
 「そして愛されていなかったとしても」

*1 sup を含めてすべて小文字で表記する

2.2 Supplier

Supplier（略記：sup）は動詞・名詞に続く語の関係を示すものである（詳細は統語論で扱う）。sup は語の後につく（例：rhai-se re.）。sup には特定の接尾辞がつかない。

sup が動詞・名詞に付くことを「**修飾（する）**」と呼ぶ。語に sup がついていることを「（語が sup を）**持つ**」という。sup が取る語（例：vea-re veie ならば sup -re に対して veie）を「**項**」と呼ぶ。sup が項を取り関係を確定させることを「（項を）**解決する**」と言う。

表 2.2 はよく使われる sup の一覧である。

表 2.2 主な Supplier の表

語	意味	用例	意味
-sy	～は	monai-sy ry.	「私は寝る」
-se	～を	heriai-se ina.	「これを奏でる」
-re	～の	parai-se parassa-re ferina.	「本当の答えを言う」
-nie	～で	rerei-nie ina.	「ここで遊ぶ」

2.3 名詞

名詞は接尾辞 -a がついた形で表される。名詞は sup を持つ。ただし一部の名詞（専ら代名詞の一部で ry や re など）は -a で終わらない。

2.3.1 人称代名詞

人称代名詞は一人称、二人称、三人称の 3 つが存在する。扱い・表記共に名詞に準ずるが、すべての人称代名詞が -a で終わるとは限らず特に一人称・二人称に例外が多数存在する。

また、文脈に応じて人称代名詞を使い分けることもできる。フォーマル・インフォーマルな言い方や、文法には本来存在しない数を補うものとして単数・複数それぞれ

表 2.3 数・文脈で変化する人称代名詞

語	意味	文脈
re	貴方	フォーマル
reky	貴方達	同上
rea	君	インフォーマル
rena	君達	同上

れの表現が用意されているものが存在する。

2.3.2 所有代名詞

2.4 動詞

動詞は語幹に接尾辞 **-ai**、**-ei**、**-oi** のいずれかがついた形で表される。動詞は **mod** と **sup** を持つ。

2.4.1 繋辞 **-hy**・存在 **-zy**

動詞 *ai* に繋辞の **sup -hy** を修飾させることで、「(A は) B である」と表現できる。また、存在を示す **sup -zy** を修飾させることで、「A がいる (存在する)」と表現できる。

単純な「A は B である」の例――

ai-sy-hy re perie.

ai^{v.} -sy^{SUP.}_{NOM.,#1} -hy^{SUP.}_{ACC.,#2} re^{PRON.}_{NOM.,#1} perie^{ADJ.}_{ACC.,#2}

「あなたは可愛い」

単純な「A がある」の例――

ai-zy desia.

ai^{v.} -zy^{SUP.}_{NOM.,#1} desia^{N.}_{NOM.,#1}

「希望がある」

また、節 3.1.5 を利用することで動詞 *ai* を省略することもできる。

動詞 *ai* の省略――

sy-hy re perie. 「あなたは可愛い」

zy desia. 「希望がある」

2.4.2 項になることによる動名詞化

動詞が **sup -se**、**-re** など各種の **sup** の項となったとき、動詞は動名詞のように働く。動名詞はもっぱら「～すること」という意味になる。

動名詞と化した動詞

zeai-sy-se ry parai.

zeai^{V.} -sy^{SUP.}_{NOM.,#1} -se^{SUP.}_{ACC.,#2} ry^{PRON.}_{NOM.,#1} parai^{V.}_{ACC.,#2}

「私は話すことが好き」

2.4.3 動詞の名詞・分詞化

すべての動詞はそれぞれ名詞の形を持っている。名詞化した動詞は動名詞とは異なり、意味合いも実際の形態も異なる。いくつかの動詞は分詞（形容詞・副詞として扱われる）の形も持っている。名詞・分詞への変換は動詞の語尾に応じて表 2.4 のようにする。

表 2.4 動詞の名詞・分詞化

動詞の接尾辞	動詞	名詞	形容詞・副詞
-ai	-ai	-a	-ae
-ei	-ei	-ea	-e
-oi	-oi	-oa	-oe

sup -re など動詞を他の名詞に修飾したり、動詞自体を名詞として主語に取ったり（項に動詞を取る sup -sy 等）するときには適量活用するのが望ましい。動詞を名詞化して sup -re など項に取った場合は名詞の意味で解決され、動詞のままで項に取った場合は「～すること」という意味で解決される。以下は例である。

動詞が形容詞に転用された例

senoa-re danoa.

senoa^{N.}_{NOM.} -re^{SUP.}_{GEN.,#1} danoa^{N.}_{GEN.,#1}

「名前の意義」

動詞がそのまま -re の項になる例

senoa-re danoi.

senoa^{N.}_{NOM.} -re^{SUP.}_{GEN.,#1} danoi^{V.}_{GEN.,#1}

「名付けることの意味」

2.5 形容詞

形容詞は接尾辞 **-e** がついた形で表される。これには動詞が形容詞化したものも含まれる。形容詞の内、**名詞を修飾する** sup -re によって付加されたものが正確な意味での形容詞である。一方、動詞を修飾する形容詞は副詞として扱われる。

2.6 副詞

副詞は形容詞が**動詞を修飾する** sup -re によって付加されたものである。即ち、名詞に掛かる -re による形容詞は形容詞のままで、動詞に掛かるものは形容詞が副詞として扱われる。

名詞に形容詞が修飾された例

deria-re perie.
 deria^{N.}_{NOM.} -re^{SUP.}_{GEN,#1} perie^{ADJ.}_{GEN,#1}
 「可愛い人々」

動詞に形容詞が修飾された例

pakorai-re perie.
 pakorai^{V.} -re^{SUP.}_{GEN,#1} perie^{ADV.}_{GEN,#1}
 「可愛く笑う」

2.7 疑問詞

疑問詞は接頭辞 **za-** がついた形で表される。疑問詞は sup を持つ。

すべての名詞は接頭辞をつけることで疑問詞に転用できる。ただし転用したことによる意味の変遷に一定の規則はない。節 2.7 以外の疑問詞は一意的な意味を持たないので、意味の確定は話者に託される。

表 2.5 主な疑問詞

疑問詞	意味
zaria	誰
zarea	何
zarara	何処
zavea	何時
zarezea	どのように

2.8 時制

時制は *mod* で表現する。過去は *mod ro-* で、未来は *mod ho-* を付加して表現する。時制の表現は何かを行ったときの時間以外の意味を含まない。いわゆる過去進行形、未来進行形は相の表現と併用して表現できる。

2.9 相

相は *mod* で表現する。

継続相は *mod kyi-* を付加する。

2.10 受動態・使役態

態は *mod* で表現する。能動態のときは無標である。受動態は *mod esi-* を付加する。使役態は *mod eki-* を付加する。

第 3 章

統語論（一般）

3.1 文全体の語順

基本的な語順は VSO である。ただし mod -*sy* の場所によっては VOS になりうる。主語がない（= sup -*sy* により付加されない）場合単純に VO のみとなる。

一般に文は動詞ないし名詞から始まるが、これを欠いた文も構築できる。しかしその場合 mod・sup の記述が特殊になる。

3.1.1 動詞のみ（V）

例

veriai. 「起きる」

zarai. 「行く」

3.1.2 動詞と主語（VS）

例

derai-sy deria. 「人は死ぬ」（-*sy* は主語を項に取る sup である）

benerai-sy ry. 「私は悔やむ」

3.1.3 動詞と主語と目的語 (VSO)

例

parai-sy-se ry raipara-re ry. 「私は raipara-re ry を話す」
zerai-sy-se re ry. 「貴方は私を愛する」

3.1.4 動詞と目的語 (VO)

sup -sy がない場合、何が主語になるかは文脈に依存する。

例

ny-kyvenai-se roea. 「迷いを知らない」
rea-noadoai-se meria. 「星を数えましょう」

3.1.5 核たる名詞・動詞がない文

例えば「彼が」や「何を？」といった文を作るとする。このとき文頭に動詞・名詞が存在しないながらも mod・sup は存在する宙ぶらりんな状態になる。このとき該当する sup はハイフンなし（表 A.1 参照）に記述する。mod が存在するならば、最後の mod の直後に sup をハイフンつきで記述する。

sup のみの場合

sy ryna! 「我々が！」
sy-ne ry re. 「私が君に」

mod・sup が混在する場合

ay-hy reky? ay-sy ro-dezai? 「君達なのか？ 壊したのは？」
= ay-ai-sy-hy ro-dezai reky?

3.2 疑問文

疑問文のうち、「はい」か「いいえ」で返答されうるものは通常の文の主たる動詞に *mod ay-* を付加して表現する。一方で何がわからないか（または知りたいか）といった疑問の対象が明らかな場合は、*mod -ay* を付加した上で対象に対応する疑問詞を通常の *sup* を通じて表現する。

- Seni: *ay-enogai*? 「食べますか？」
Romi: *reene*. 「はい」（または）*nene*. 「いいえ」
- Kyrani: *ay-ri-honorai-se kande*? 「何を歌いましょうか？」
Renei: *ri-ai-se «reia-re reda»*. 「『夜の月』を歌いましょう」

なお、文末に「？」をつけることは必須ではないが、つけてもよい。

第 4 章

統語論 (mod・sup)

4.1 sup の項の解決

4.1.1 sup の役割・基礎的な読み解き方

Supplier、略して sup は動詞または名詞と続く語の関係性を示す重要な概念である。いわゆる格（例：～が・～を・～に、など）など各種の文法事項の大半がこの sup で解決される。sup は基本的に修飾する名詞・動詞に続く語を sup の並びに応じて**左から順に**項に取っていく。

sup は常に一つだけ語、名詞句、動詞句などを項に取る。逆説的に複数の語（の塊）が一つの sup で解決されることはない。言い換えるなら上述の通り左から順に項（語）を取る時、一つだけ取ることはあっても二つ連続して取ることはない。

以下に単純な例を挙げる：

- zeai-sy ry. 「私は愛する」
sup -sy (～は) が ry (名詞：私) を項に取っている。
- zeai-sy-se ry re. 「私は貴方を愛する」
sup -sy が ry、sup -se (～を) が re (名詞：貴方) を項に取っている。

4.1.2 入れ子になった sup の解決

例えば「zeai-sy-se ry re-re perie.」という文章を考える。意味は「私は可愛い貴方を愛する」である。ここで注目すべきは、sup -re が項に取っている re が sup -re を持つ

ていることである。

このような場合も常に左から項を解決する。即ち以下のように解決を進める：

1. sup *-sy* が最初の項 *ry* を取る。
→「私 (*ry*) は (*-sy*) 愛する (*zeai*)」
2. sup *-se* が次の項 *re* を取る。
→「貴方 (*re*) を (*-se*)」
3. *re-re* の sup *-re* が次の項 *perie* を取る。
→「可愛い (*perie*) の (*-re*) 貴方 (*re*)」 = 「可愛い貴方」
ここで *re-re perie* は一塊の名詞句として扱われる。
4. それぞれの項をまとめて sup の解決を終了する。

4.2 mod の解決

sup と違い Modifier、略して *mod* は一切の項を持たないので、sup より解決は極めて簡単である。*mod* は常に対象の動詞・名詞の前につく。対象が直ちに定まるため、*mod* の意味を直接対象に与えるだけで良い。以下は例である。

- *ri-honorai*. 「歌いましょう」
mod ri- は相対的に弱い呼びかけ・誘いの意味合いを持つ。
- *ho-derai-sy ria*. 「人は死ぬ」
mod ho- は将来起こることを示す。

4.3 sup の修飾品詞による意味の変更

一部の sup はそれが修飾する語の品詞（動詞か名詞）によって意味を変える。これを **sup のポリモーフィズム** と呼ぶ。具体的には sup *-re* が該当する。

4.3.1 -re のポリモーフィズム

便宜的に文を「A-re B」とする。

- A=名詞・B=形容詞

→ B は形容詞のままである。

- A=動詞・B=形容詞

→ B が副詞化する。

第Ⅲ部

附録

Appendix A

文法の補足

A.1 mod・sup の語順

原則 mod・sup はどのように並び替えても良い。例外は以下の通りである。数字が若いほど優先度が高い。この例外事項は義務的ではない。

A.1.1 mod の語順

1. *ike-*・*yke-*・*san-*・*tan-*
→ 他の mod より**先**に置く。
2. *ay-*
→ 他の mod より**先**に置く。
3. *ny-*
→ 他の mod より**先**に置く。
4. *ho-*・*ro-*
→ 他の mod の**後**に置く。
5. *kyi-*
→ 他の mod の**後**に置く。

A.1.2 sup の語順

1. 疑問詞の絡む sup の項
→ 常に他の sup の項の**後**に置く。
2. *-e*・*-i*
→ 他の sup より**先**に置く。
3. *sy-*
→ 他の sup より**先**に置く。
4. *hy-*
→ *-sy* の**直後**に置く。
5. *zy-*
→ 他の sup より**先**に置く。

A.2 約物の表記

表 [A.1](#) が r3 の記述上の役物として用いられる。

表 A.1 raipara-re ry の約物一覧

役物	範囲	意味
.	文の終わり	文の終了記号。
,	文の区切り	文を列挙する時や副文の結合記号。
-	mod の直後・sup の直前	mod・sup を語に結合するための記号。
!	文の終わり	文の強調を明示的に示す記号。
?	文の終わり	疑問文の終わりを明示的に示す記号。
《》	文の前後	会話・文章を引用・強調するための記号。

A.3 外来語の表記・読み

外来語（例：英語・日本語）の語を r3 で表記するときは原則として外来語のアルファベット転記をそのまま表記する。r3 にない文字（C や L など）は原則そのまま写す。

読みは r3 の発音規則にそってできるだけ似せて表現する。テキスト上で記述するときは原表記と共に読みも記述するのが望ましい。

借用語など外来語を r3 風に直すときは 表 A.2 のように変換する。

表 A.2 表記の置換ルール

置き換え元	置き換え先
b	v
c	k
j	zh
l	r
y	i

注：英 → r3

A.4 日本語への転記

r3 の発音規則は概ね日本語と共通しているので、発音する通りに日本語（仮名など）に転記すればよい。

r3 → 日本語への転記例

sy-hy raipara-re ry kene.

「すふ らいばら・れ る けーね」

A.5 複合語の形成

Appendix B

作品集

B.1 「インターナショナル」 r3 版

B.1.1 意味重視

iy-viria-ve-re zizenoi naira
 di-veriai-de mezei-se senra
 veparai-sy vyrenda-re rena
 ri-gezeai-re-de fore ferina
 ni-dezai-re-se zenoe vie-senra
 tan-reviei-se sareira-re ferina
 ai-sy rena-re takai-rae zaira
 morei-se zie-senra-re fasea

(※ 繰り返し)

di-zarei-ne gezea-re haira
 forei-re-sy finae rena
 ve *International*
 finai-re-sy mezea rena

※ 繰り返し

すべての飢えたる奴隷達よ
 世界を変える為決起せよ
 我らが血が訴えかける
 真理の為に共に戦おう
 旧世界を直ちに破壊して
 本来の権利を取り戻す
 無から立ち上がった我々が
 自由な新世界を統べるのだ

最後の戦いに赴こう
 我々は強く団結する
 インターナショナルと共に
 我々が変革を成し遂げる

B.1.2 歌唱重視

zy viria-re zizenoi
zy deria-re vezei-a zinoi
veparai-sy vyrenda-a ryna
di-gezeai-de ferina
dezai-sy-se ryna vie-senra
reviei-se sareia
enei-sy vea-re erirei
ve fossa-re mika-a harai
(※ 繰り返し)
hy gezea-re haira
di-vezei-de erirei
ve *International*
finai-se vemezei!
※ 繰り返し

飢えたる奴隷が居る
悶え苦しむ人々が居る
我らが、血が訴えかける
真理の為に戦おう
旧世界を破壊して
持つべき権利を取り戻す
勝利の瞬間が迫る
翻る赤き旗と共に

最後の戦いだ
勝利のために行動せよ
インターナショナルと共に
変革を成し遂げる

Appendix C

語彙集

C.1 スワデシュ・リスト

表 C.1: raipara-re ry 版スワデシュ・リスト

番号	日本語	英語	raipara-re ry
1	私	I	ry
2	君 / 貴方	you	re
3	彼	he	re (性なし)
4	私達	we	ryky
5	君等	you	reky
6	彼等	they	reky (性なし)
7	これ	this	ina
8	それ	that	ida
9	ここ	here	oina
10	そこ	there	oida
11	誰	who	zaria
12	何	what	zarea
13	何処	where	zarara
14	何時	when	zavea
15	如何	how	zarezea

番号	日本語	英語	raipara-re ry
16	否	not	(mod で表現する)
17	全て	all	naira
18	多く	many	raine
19	少し	some	feine
20	少ない	few	feine
21	他	other	aie
22	一	one	noa
23	二	two	doa
24	三	three	toa
25	四	four	koa
26	五	five	nokoa
27	大きい	big	raie
28	長い	long	somire
29	広い	wide	faare
30	厚い	thick	vaire
31	重い	heavy	venge
32	小さい	small	pie
33	短い	short	pire
34	狭い	narrow	gyire
35	細い	thin	syire
36	女	woman	eira
37	男	man	aira
38	人	human	ria
39	子	child	pira
40	妻	wife	reira
41	夫	husband	raira
42	母	mother	anira
43	父	father	enira
44	生き物	animal	nirea
45	魚	fish	aniraia
46	鳥	bird	niha

番号	日本語	英語	raipara-re ry
47	犬	dog	nivava
48	虱	louse	nikaha
49	蛇	snake	nisomia
50	虫	worm	nivyta
51	木	tree	hyrizia
52	森	forest	hyraia
53	枝	stick	hypia
54	実 / 果物	fruit	hythana
55	種	seed	hynisa
56	葉	leaf	hynha
57	根	root	hyteeda
58	木皮	bark	hyganda
59	花	flower	hyraasia
60	草	grass	hyrea
61	縄	rope	viyna
62	皮	skin	mina
63	肉	meat	kamia
64	血	blood	vyrenda
65	骨	bone	kagia
66	脂	fat	miva
67	卵	egg	konirea
68	角	horn	keeda
69	尻尾	tail	nessa
70	羽	feather	faana
71	髪	hair	kahana
72	頭	head	kooza
73	耳	ear	kana
74	目	eye	kyra
75	鼻	nose	kasa
76	口	mouth	kaza
77	歯	tooth	katia

番号	日本語	英語	raipara-re ry
78	舌	tongue	kazapia
79	爪	finger nail	kazara
80	足	foot	kea
81	脚	leg	karia
82	膝	knee	kafea
83	手	hand	kada
84	翼	wing	foressa
85	腹	belly	karoma
86	腸	guts	kamina
87	首	neck	kassa
88	背	back	kanoa
89	胸	breast	kena
90	心	heart	kaira
91	肝	liver	kensa
92	飲む	to drink	monora-
93	食べる	to eat	enoga-
94	噛む	to bite	katia-
95	吸う	to suck	pysa-
96	吐く	to spit	emira-
97	吐く	to vomit	emira-
98	吹く	to blow	fassa-
99	息する	to breathe	rene-
100	笑う	to laugh	pakora-
101	見る	to see	mira-
102	聞く	to hear	feno-
103	知る	to know	rhe-
104	思う	to think	kara-
105	嗅ぐ	to smell	kesa-
106	恐れる	to fear	ganda-
107	寝る	to sleep	mona-
108	生きる	to live	nire-

番号	日本語	英語	raipara-re ry
109	死ぬ	to die	dera-
110	殺す	to kill	rha-
111	戦う	to fight	gezea-
112	狩る	to hunt	gema-
113	打つ	to hit	tate-
114	切る	to cut	sha-
115	割る	to split	kinda-
116	刺す	to stab	vissa-
117	掻く	to scratch	saro-
118	掘る	to dig	zhodo-
119	泳ぐ	to swim	zhava-
120	飛ぶ	to fly	kaaha-
121	歩く	to walk	koro-
122	来る	to come	seo-
123	寝る / 横たわる	to lie (as in a bed)	reko-
124	座る	to sit	soma-
125	立つ	to stand	taka-
126	回る	to turn (自動詞)	vora-
127	落ちる	to fall	vavo-
128	与える / 上げる	to give	assa-
129	持つ	to hold	handa-
130	絞る	to squeeze	vano-
131	擦る	to rub	sessa-
132	洗う	to wash	zenra-
133	拭く	to wipe	susa-
134	引く	to pull	gha-
135	押す	to push	zyira-
136	投げる	to throw	syra-
137	結ぶ	to tie	rena-
138	縫う	to sew	nina-
139	数える	to count	noadoa-

番号	日本語	英語	raipara-re ry
140	言う	to say	ro-
141	歌う	to sing	honora-
142	遊ぶ	to play	rere-
143	浮く	to float	hyna-
144	流れる	to flow	raasa-
145	凍る	to freeze	akado-
146	膨らむ	to swell	raifa-
147	太陽	sun	sena
148	月	moon	reia
149	星	star	meria
150	水	water	pisa
151	雨	rain	ashara
152	川	river	ahyra
153	湖	lake	anea
154	海	sea	araipisa
155	塩	salt	asyma
156	石	stone	izyma
157	砂	sand	zena
158	塵	dust	pizena
159	土	earth	raizena
160	雲	cloud	serea
161	霧	fog	feserea
162	空	sky	eria
163	風	wind	fyra
164	雪	snow	aoria
165	氷	ice	akadoa
166	煙	smoke	osyma
167	火	fire	vazyma
168	灰	ash	shyma
169	燃える	to burn	vazyma-
170	道	road	taria

番号	日本語	英語	raipara-re ry
171	山	mountain	henezyva
172	赤	red	mika
173	緑	green	vika
174	黄色	yellow	nerika
175	白	white	orika
176	黒	black	reika
177	夜	night	reda
178	日	day	da
179	年	year	raida
180	暖かい	warm	haare
181	寒い	cold	doore
182	満ちた	full	pyre
183	新しい	new	ve
184	古い	old	zie
185	良い	good	saare
186	悪い	bad	zaine
187	腐った	rotten	fasse
188	汚い	dirty	vaade
189	真っ直ぐ	straight	saire
190	丸い	round	roire
191	鋭い	sharp (as a knife)	sekede
192	鈍い	dull (as a knife)	ozyme
193	滑らか	smooth	messe
194	濡れた	wet	amane
195	乾いた	dry	pase
196	正しい	correct	ire
197	近い	near	seine
198	遠い	far	neire
199	右	right	rekoda
200	左	left	hekoda
201		at	(sup で表現)

番号	日本語	英語	raipara-re ry
202		in	(sup で表現)
203		with	(sup で表現)
204		and	(sup で表現)
205		if	(sup で表現)
206		because	(sup で表現)
207	名前	name	danoa
